

シグマ委員会核データ専門部会
熱中性子散乱WG昭和46年度第3回会合議事録

日 時 昭和46年11月29日午後1時30分～5時20分

場 所 原研東海研セミナー室

出席者 角谷, 大竹, 後藤, 坂本, 飯泉, 関谷, 中原, 千原 以上8名

配布資料

JAERI-memo 4502, JAERI-memo 4593 飯泉

議 事

1. 一般報告

報告事項はなかった。

2. 文献調査

坂本氏より大要次のような報告があった。6月に締切った分はJAERIレポートのBibliography 3版として印刷に出した。ページの入れ違い等のミスがあったので、現在作り直し中である(見本刷が回覧された)。WG分として250部あるので、配布先を考えたい。6月から10月の間に150件ほど溜っているが、これはレポートのSupplementとして出す。文献処理のプログラムの当方への引渡しはこれが済んだ段階で行なわれる。今後この作業を進めるに当っては、核データの人が一人入ってくれることが望ましい。文献収集の範囲の検討, CINDAのscattering lawのチェック等をして、内容を充実させたい。出版物にする場合、その出版形式及びまとめ方を改善する方向で進めたい。

この後質疑応答があり、次の事項が確認された。

国内論文はsystematicにはサーベイしていないが、CINDA関係のProg. Theoret. Phys., J. Phys. Soc. Japan, J. Nucl. Sci. Tech.の論文は入れ

ている。50件位集ったら、計算機でリストを作り、WGのメンバーに配布する。

3. 研究紹介

飯泉氏より CaF_2 の分散関係、振巾の理論及び実験についての報告があった。

4. その他

ファイル作成についての議論が行なわれたが、まとめ方については熱中性子散乱WGだけで決めることではなく、速中性子関係の人との調整が必要であり、最終的には幹事会で決定すべきであろうということになった。